

なごやぬいぐるみ病院 保育園夏実施報告書

文責：畑下直

連絡先：nhatt222@gmail.com

●実施概要

- ・実施日：2012年9月4日
- ・活動場所：こすもす保育園
- ・当日参加した学生の人数：21人
- ・子どもの人数：12人(3歳2人、4歳3人、5歳7人)
- ・活動時間：10:20～11:15
- ・活動内容：ぬいぐるみ病院、その他(待合⇒健康に関する紙芝居の読み聞かせ)
- ・保健教育テーマ：「もりもりっこたいそう」
- ・当日の流れ(園児の動き、学生の動きが分かるように)

時間	行ったこと
9:00	集合
9:30	事前リハーサル、持ち物分担
10:00	写真撮影
10:10	保育園に入場
10:20	アイスブレーキング兼保健教育開始
10:30	問診前半開始
10:50	前後半入れ替え
10:55	問診後半開始
11:15	撤収
12:00	反省会
14:00	解散

●準備について

- ・今回の準備に向けて初めてMTGを行った日：8月1日
- ・準備に来た学生の人数：1日平均4人
準備合計?人
- ・当日までの準備の日程・内容

日程	話し合ったこと、準備したもの
----	----------------

7月上旬	保育園にメール。実施日程と参加人数の決定、確認
7月下旬	準備日程の調節、実施当日参加者の募集と確認
8月1日	当日の時間枠の使い方を決定（問診前後半式、アイブレと保健教育を統合）
8月7日	保健教育アイブレのテーマと形式を絞り込む
8月中旬	保健教育アイブレのテーマをメーリスによるアンケートで決定（⇒規則正しい生活に決定）
8月22日	本格的に準備開始 カルテの形式（縦型）とお土産に何を作るか決定
8月23日	お土産作成 問診練習
8月24日	お土産作成 問診練習
8月27日	カルテ完成 お土産完成 読み聞かせ練習 問診練習
8月28日	保育園の先生と打ち合わせ
9月1日	問診練習 読み聞かせ練習
9月2日	直前リハーサル 物品確認
9月3日	直前リハーサル、一人一人に資料を配布（タイムライン、持ち物）

●診察（おいしゃさんごっこ）について

前回からの改善点・工夫した点

- ・カルテを縦方向に工夫した。上から下に進むので流れがわかりやすいというのと、当初は、穴をあけて紐を通す予定だったため（紐を冷蔵庫とかにかけてもらえれば、お約束の面が保護者にも目につきやすいのではないかと思ったため）、縦方向のカルテにした。
- ・問診の練習を数多く行った。反省会でも、練習をしたから前回の実施よりもスムーズにできたという声が一年生から多く聞かれた。
- ・医師と看護師の組み合わせをしっかり考えた。問診の前半で、問診がうまい先輩（医師役）と問診経験が少ない低学年（看護師役）を一緒にして、問診後半でその低学年の子が前半で学んだことを実践で生かせるような組み合わせ（後半では、その子を医師役に当てた）になるように配慮してシフトを組んだ。

今回の実施を受けての反省点と、それに対する改善策

- ・15分しか取れなかったが、時間的にかなり厳しかった。もう少し問診に余裕を持った時間の組み方をしたい。
- ・「ぬいぐるみ病院を楽しみにしていたのに、うけた診断結果がこどもにはショックだった。」という指摘を保護者の方から受けた。その子の場合では、外に出してないぬいぐるみがなぜ虫に刺されたか疑問だったようだ。患者（ぬいぐるみ）の状況、主訴をしっかりと聞くことを徹底していきたい。
- ・問診の後半と前半の入れ替えに時間がかかった。入れ替えのときの動きの確認を事前にしっかりしておくことが必要であった。

●保健教育について

・テーマ：もりもりっこたいそう（規則正しい生活）

・テーマを選んだ理由：

アイスブレイキングと保健教育を時間的な制約があったので合わせてやることになった。そのため、アイスブレイキングであることと時間が10分しかないことを考慮に入れて、最初から絞ったテーマをやるよりもあえて「生活」という大きなテーマにして、広く浅くやろうということになった。

保育園の先生からも、このテーマについては大いに賛同を頂けた。

・形式：歌とダンス

・内容：

「3歳でもおどれるたいそう、歌える歌」を意識して作った。

歌は「森のくまさん」のメロディーにした。これは、文字が読めない子がいると考え、復唱式の歌の方が良いとなったためである（「ある～日♪」「ある～日♪」となるので、歌詞が読めなくても、学生の言葉を繰り返せば歌うことができる）

体操は、ひろみちお兄さんの動画を見て、その中に出てくる動きを適宜取り入れることを意識した。これは、ひろみちお兄さんの「おかあさんといっしょ」の体操を、保育園の年代の子も踊れていることに着眼したためである。動作は基本、歌詞に関連したものになっている。

歌詞は以下の通り

①あさごはん たべよう おやさいも のこさずに

あさごはんを食べて 元気にうんちだそう

②たべたら 歯を磨こう 奥歯も 裏側も

ピカピカになったら ばい菌さようなら

③夜には 早く寝よう みんなに おやすみ

たくさんねむったら ぐんぐん背が伸びる

伝えたい点を

・あさごはん ・はみがき ・夜早く寝る

の3点にしたのは、保育園にいる時間帯は、生活習慣（食事、遊ぶ、昼寝）などがきちんとしていると思われたので、家にいるときの生活習慣の方が乱れやすいと考えたためである。

歌とダンスが終わった後、「おうたのなかで大事なこと言ってたよね？おぼえてる？」と聞いたところ、すぐにこの3点を子どもたちがあげてくれたのでとても嬉しかった。

使ったもの（作成したのものも含む）

当日使用：歌詞カード（模造紙に歌詞記入）

準備段階：進め方台本、ダンスの図

・説明の際、注意した言葉や表現

最初に歌詞に「パパママ」という表現が入っていたが、家族の形態はこども達それぞれであることを考え、この表現はカットした。（かわりに、「みんなに」になった。）

「うんち」「ばいきん」などの単語を入れた。

・園児の反応：

理解：理解してくれた 理解できないようだった わからない

楽しさ：楽しんでた つまらなそうだった わからない

行動変容：保健教育を受けて、行動が変わった 変わらなかった わからない

その他

ほとんどの子がのりのりで踊ってくれた。2～3人踊らない子もいた。

伝えたかった3点もすぐにみんなで答えてくれたので、理解もしてもらえたと思う。

ただ、行動が変わったかまでは評価できてないのが現実である。

良かった点

・ダンス、歌とも保育園の子が楽しくできるものになっていた。

・学生とこどもと一緒にできる動きを取り入れたことで、他のところを踊らない子もそこだけは学生と踊ってくれた。

・「10分で、アイスブレーキングも兼ねる」という条件に合っていた。

反省点

・学生が多かったので、アイブレ担当は参加学生の半分にしてしまったが、待機の学生が暇になってしまっていた。

・踊りと歌を同時にやるのは難しそうだった。

・学生の間でもアクセントの置き方次第で歌詞がずれる（例：A「ぴかぴかに～な～った～ら～」 B「ぴかぴか～にな～ったら～」）ところがあり、そこの統一がしきれなかった。

- ・同じテーマの保健教育をやる大学へのアドバイス

形式について

おどりは本当に楽しそうにやってくれるので、おすすめです。あと、踊りの中に「学生と手を合わせる」とか、学生とこどもが触れ合える機会を作るのと楽しいと思います。

テーマについて

今回私たちは「なんで〇〇しなきゃいけないの」というところまで時間的に話ができませんでした。本来は、この「なんで」を伝えることが、生活習慣をテーマにするうえでは特に大事だと思います。

●ぬいぐるみ病院では無い活動（小児科活動、町のお医者さんなどはこちら）

- ・活動の名称：待合
- ・内容

図書館からかりた紙芝居を読み聞かせた。

一つは「歯がなんで大事なのか、歯がないとどうなるのか」を扱った紙芝居で、もう一つは「ちゃんと服を着ないと風邪ひくぞ！」という内容の紙芝居であった。

・前回からの改善点・工夫した点・良かった点

- ・こども達とたくさん話せた。
- ・歯の方の紙芝居は保健教育と相関性があったのでよかった。保健教育ではしきれなかった説明を紙芝居でカバーできた。
- ・問診などのように基本的な流れが決まったものではない待合をやることで、低学年もいい経験ができた（ハズ！）。

・今回の実施を受けての反省点と、それに対する改善策

- ・既成の紙芝居を使ったため、こどもの中にそれを読んだことのある子がいた。
できるだけ手作りにするとか、既成のものを使うならアドリブや読む担当わけとかでアレンジを加えるべき。
- ・読み聞かせの練習回数が少なかった。読み聞かせは奥深い！
- ・早くよみ終わったときの想定もしておく

●その他（任意）

- ・企画まで進まなかったが、話し合いで出た保健教育テーマ
かさぶた、おおきくなるためには、手話、熱中症、食中毒、プールで遊ぶときの注意

- ・保護者アンケート結果

アンケート結果まとめの PPT がなごやぬいぐるみにはあるので、見たい方がいらっしゃったら私までご連絡ください。

質問内容は

- ・ こどもの歳
- ・ 参加させて変化有ったか（大体半々の結果でした。）
- ・ 今後扱ってほしいテーマ などです。

- ・ 保育園の先生からのアドバイス

待合の時間を、小さい子が大きい子のぬいぐるみ病院を見学する時間にすればスムーズに小さい子の問診が進むのではないかとアドバイスをいただいた。